

川に学ぼうかい in 浦上川 (川平地区)

代表
高松隆也さん



川と水の安全講習会の様子。「今度は小学生にも参加を呼びかけたいです」と高松さん

防災の第一歩は「助け合い」の心 活動を通して地域を元気にしたい

長崎市の東北部にある川平地区は、浦上川の上流に位置し、緑に囲まれた自然が多く残る地域です。この川平地区で、浦上川上流周辺の清掃、美化活動を行っているのが「川に学ぼうかいin浦上川（川平地区）」のメンバーです。周辺の美化活動を通して、防災や環境、生物などを学ぶことを目的として平成23年に発足、小学校や自治会などと連携し、現在20人が中心となって活動しています。

「川は危ない所という印象が強く、子どもたちが昔のように川遊びをする機会が少なくなってきました。そこで、川平小学校の生徒に呼びかけ、川遊びを体験してもらいながら、安全な遊び方や川の中や周りの生き物などを一緒に学ぶ講習会を開きました。実際に体験することで、川の素晴らしさ、注意点を学び、川に愛着を持ってもらうことができたと思います。参加した保護者からは「川の近くに住んでいたけど一度も子

どもを遊ばせたことがなかった。初めて楽しさや遊び方が分かって良かった」という声も聞かれました」と代表の高松隆也さん。

他にも専門家や地域の消防団を呼んで「川と水の安全講習会」を企画。川が急に増水した時はどんな風に動きにくいかわかり、人力で再現したり、ロープの結び方やライフジャケットの正しい着用方法などを学ぶ勉強会も開いています。

「川平地区は昭和57年7月の長崎大水害で多くの犠牲者が出ました。いざ災害が起きた時、大切なのは地域全体が「助け合い」の気持ちを持って動くこと。活動を通して顔見知りになることで、住民同士の交流にも繋がっていると思っています。お互い様の精神で住民が声を掛けあって、もっと地域が元気になってくれれば嬉しいです」と高松さん。



蛍のシーズンが終わった7月から、草刈りなどを行っています



子どもも大人も一緒になって活動しています